

気候変動対策 まったなし!



8月28日川底が土砂で埋まり水があふれ出す
酒井川＝石川県羽咋市(写真はしんぶん赤旗より)

日本共産党

再エネ・省エネを抜本的に拡充し、 「脱化石燃料会議」へ日本政府も参加を

日本は、今年4月コロンビアで開催された、世界58カ国・地域による「脱化石燃料会議」に招待されませんでした。脱化石燃料に消極的だったためです。

再エネのコストは国際的には石油、原発、石炭より低くなり、拡充の条件は十分あります。再エネ・省エネ拡充に舵をきり、来年開催される第2回目会議には参加すべきです。

戦争・軍拡は気候変動対策に逆行

米国とイスラエルの対イラン攻撃が最初の2週間でイスランドの1年分に当たる約500万トンの二酸化炭素(CO₂)が排出されました。

戦争が起こればCO₂の排出が増えるのは明らかです。しかも軍隊は平時でも排出削減の対象外で、軍拡は気候変動対策に逆行します。高市政権は軍拡をやめ憲法9条を活かした外交戦略に力をいれるべきです。

2026年度予算では省エネ・再エネ予算は、CCUS(二酸化炭素の改修・貯留・利用)など化石燃料の継続的利用につながる新技術開発や実証等が中心で、自然エネルギー利用を全国的に普及する観点からはほど遠いものとなっています。また次世代革新炉―新しい原発の開発・設置推進し、原発に固執しています。

さらに3月の日米首脳会談では、米国内の化石燃料の開発・利用拡大や小型原子炉建設への巨額投資を約束し気候危機対策に背をむけるトランプ政権へ追随しています。



3月19日
日米首脳会談
写真は内閣広報室

高市政権

気候危機対策に背を向け米国に追随

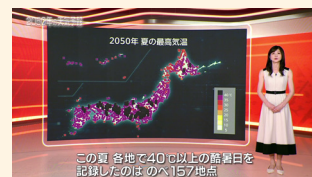
2050年、カツ丼なくなる!?

24年後の天気予報 - 酷暑日157地点「外出自粛令」発令

「2050年8月8日。この夏、各地で40度以上の酷暑日を記録したのは延べ157地点。群馬県伊勢崎市では最高気温が43度に達する見込みです。」とはじまる「2050年の天気予報」※。

24年後の天気予報では現時点の温暖化対策がすすめば世界で、飼料や食用油の原料が不足し輸入価格が高騰。暑さで豚や鶏、米の生産が減少し、「カツ丼が気軽には食べられなくなった」と予報しています。

※「2050年の天気予報」製作委員会―日本気候リーダーズパートナーシップ / NHKエンタープライズ / 気象キャスターネットワーク / クライメイト・ダイアログ



©「2050年の天気予報」製作委員会



動画はコチラより
ご覧いただけます

気候危機も事実に基づき全力報道

しんぶん赤旗

購読・お試しコチラから▶



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2026年9月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可

◀東京民報のホームページ・紙面はコチラから

気候危機打開へ力を合わせましょう

日本共産党 参議院議員

山添 拓



気候変動対策 まったくなし!



8月28日川底が土砂で埋まり水があふれ出す
酒井川＝石川県羽咋市(写真はしんぶん赤旗より)

日本共産党

再エネ・省エネを抜本的に拡充し、 「脱化石燃料会議」へ日本政府も参加を

日本は、今年4月コロンビアで開催された、世界58カ国・地域による「脱化石燃料会議」に招待されませんでした。脱化石燃料に消極的だったためです。

再エネのコストは国際的には石油、原発、石炭より低くなり、拡充の条件は十分あります。再エネ・省エネ拡充に舵をきり、来年開催される第2回目会議には参加すべきです。

戦争・軍拡は気候変動対策に逆行

米国とイスラエルの対イラン攻撃が最初の2週間でイスランドの1年分に当たる約500万トンの二酸化炭素(CO₂)が排出されました。

戦争が起こればCO₂の排出が増えるのは明らかです。しかも軍隊は平時でも排出削減の対象外で、軍拡は気候変動対策に逆行します。高市政権は軍拡をやめ憲法9条を活かした外交戦略に力をいれるべきです。

2026年度予算では省エネ・再エネ予算は、CCUS(二酸化炭素の改修・貯留・利用)など化石燃料の継続的利用につながる新技術開発や実証等が中心で、自然エネルギー利用を全国的に普及する観点からはほど遠いものとなっています。また次世代革新炉―新しい原発の開発・設置推進し、原発に固執しています。

さらに3月の日米首脳会談では、米国内の化石燃料の開発・利用拡大や小型原子炉建設への巨額投資を約束し気候危機対策に背をむけるトランプ政権へ追随しています。



3月19日
日米首脳会談
写真は内閣広報室

高市政権

気候危機対策に背を向け米国に追随

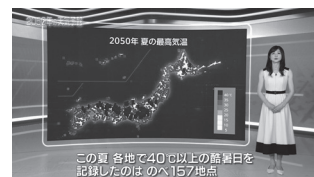
2050年、カツ丼なくなる!?

24年後の天気予報 - 酷暑日157地点「外出自粛令」発令

「2050年8月8日。この夏、各地で40度以上の酷暑日を記録したのは延べ157地点。群馬県伊勢崎市では最高気温が43度に達する見込みです。」とはじまる「2050年の天気予報」※。

24年後の天気予報では現時点の温暖化対策がすすめば世界で、飼料や食用油の原料が不足し輸入価格が高騰。暑さで豚や鶏、米の生産が減少し、「カツ丼が気軽には食べられなくなった」と予報しています。

※「2050年の天気予報」製作委員会―日本気候リーダーズパートナーシップ / NHKエンタープライズ / 気象キャスターネットワーク / クライメイト・ダイアログ



©「2050年の天気予報」製作委員会



動画はコチラより
ご覧いただけます

気候危機も事実に基づき全力報道

しんぶん赤旗

購読・お試しコチラから▶



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2026年9月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可

◀東京民報のホームページ・紙面はコチラから

気候危機打開へ力を合わせましょう

日本共産党 参議院議員

山添 拓

